

二月の声



「春は名のみの風の寒さや
谷の鶯うぐいす 歌は思えど 時にあ
らずと声も立てず：。」

「早春賦」に歌われるよう
に、立春とはいえ冷たい風が
肌を刺します。

春と聞けば心浮き立ち、植
物は芽吹きはじめ、生きもの
が「静」から「動」へと移っ
ていく季節でもあります。

寒梅の花色がほのかに暖か
みを増し、そして立春です。
中国が原産地の梅は、古代に
日本へ伝わってきました。

一輪ごとに春が近づく気配
を感じさせ、万葉人にも愛さ
れた梅。寒風の中で凜りんとして
咲く姿が似合います。木々の
冬芽は日々膨らみ、新しい芽
吹きがあります。

幼稚園などでは手作りの鬼
やお多福の面を付けて、「鬼は
外、福は内」と豆まきを楽し
む行事が行われます。

節分は季節の分かれ目のこ
とです。本来は二十四節気にじゅうしせつぎの
立春、立夏、立秋、立冬の前
日を指しますが、今では立春

の前だけが一般的になりまし
た。

近年、節分に丸かじりする
巻きずし「恵方巻きえほう」が人気
になりました。

縁起がいい方角に向かって
切らずに無言で食べると、幸
運を呼ぶとの関西地方の風習
が伝わったものです。今年の
恵方は南南東。

二十四節気は1年を約15日
ごとに24等分した季節区分で、
古代中国でつくられました。
農作業の目安にもなり、生活
に密着した言葉がたくさんあ
ります。雨水（2月19日）、啓け
蟄ちゅう（3月6日）、清明（4月5
日）など、すべて漢字二文字
ながら季節の移り変わりを的
確に表しています。

暦の上では春。遅れていた
土手のフキノトウがやつと顔
を出しました。庭のツツジは
マッチ棒の先のような赤い芽
を付け、動植物は季節どおり
に春の準備をしています。

寒暖を繰り返しながら、春
は一步ずつやって来ます。